

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	①若年対象コース		
事業名	若年者就労向上のための建設技能資格・専門教育付与の実践		
法人名	学校法人 浅野工学園		
学校名	浅野工学専門学校		
代表者	浅野 久彌	担当者 連絡先	教授 加藤 直樹 TEL 045-421-0403
1. 事業の目的			
<p>日本経済の繁栄に世界的な100年に一度という「金融危機」が襲いかかり、企業倒産や派遣切りが相次いでいる。</p> <p>経済発展の中で若者は学校は卒業したが「適職が見つからない」「就職活動のやり方がわからない」など、さまざまな理由で就職していない者も多く、これは国家の大きな課題と位置づけられる。本事業では、神奈川県内および大阪府内の18～35歳程度の離職者で建設に関心のある若者をハローワーク横浜、横浜南、川崎（横浜、横浜南、川崎公共職業安定所）、若者の就労意識に精通した特定非営利活動法人ユースポート横浜、よこはま若者サポートステーションおよびJOBカフェすいた、JOBカフェOSAKA、豊中市地域就労支援センター、大阪府若者サポートステーション、コネクションズおおさかの協力を得て、応募希望者事前説明会を経て20名程度募る。「技能資格」を取得することにより、就職しやすい環境を整えるため、浅野工学専門学校（横浜）、中央工学校OSAKA（大阪）により「玉掛け技能資格」、「小型移動式クレーン運転技能資格」、「高所作業車」、「自由研削砥石」、「酸欠危険作業」の5種の「特別教育」技能資格の取得と建設作業従事のための必要知識を得るため、講座「施工法一般」、「CAD実習」の専門的職業知識を習得し、さらに建設業界支援による企業でのインターンシップを実施し、就業能力の向上を目指す教育プログラムを実践する。受講者ヒアリングとして、本講座受講前に離職した理由や本講座を受講して得たい事柄などを調査し、さらに習得過程や再就職に向けたキャリアアドバイス・就職支援や再就職後の定着状況も調査しフォローアップを行う。</p> <p>また、本事業は「玉掛け技能資格」、「小型移動式クレーン運転技能資格」、「高所作業車」、「自由研削砥石」、「酸欠危険作業」を取得し、実務的に専門的職業知識「施工法一般」、「CAD実習」を習得でき、ジョブ・カード作成、履修証明書も得られ再就職につながるという画期的事業である。</p> <p>講座開設にあたり、受講者満足度60%、受講者の就職率60%を設定した。</p>			

2. 事業の実施に関する項目

①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）

(1) 「技能資格」(特別教育)を取得し「建設知識」を習得させるため、「玉掛け技能資格」の学科として5時間(60分×5コマ)、実技4時間(60分×4コマ)。「小型移動式クレーン運転技能資格」の学科として9時間(60分×9コマ)、実技4時間(60分×4コマ)。「高所作業車技能資格」の学科として6時間(60分×6コマ)、実技3時間(60分×3コマ)。「自由研削砥石技能資格」の学科として4時間(60分×4コマ)、実技2時間(60分×2コマ)。「酸欠危険作業技能資格」の学科として5.5時間(60分×5.5コマ)、特別教育補講として5.5時間(60分×5.5コマ)を行った。講座として、建設分野の専門的職業知識として「施工法一般」を12時間(60分×12コマ)、CAD実習」として12時間(60分×12コマ)開講した。

受講者ヒアリングとして、ハローワーク横浜、横浜南、川崎(横浜、横浜南、川崎公共職業安定所)、特定非営利活動法人ユースポート横浜、よこはま若者サポートステーションおよびJOBカフェすいた、JOBカフェOSAKA、豊中市地域就労支援センター、大阪府若者サポートステーション、コネクションズおおさかの協力を得て募った受講者に対し18時間(60分×18コマ)受講前に実施した。

習得過程や、再就職に向けたキャリアアドバイス33時間(60分×33コマ)・建設業界支援による企業での「インターンシップ」・就職支援を行い、さらに再就職後の定着状況も調査しフォローアップも行う。

(2) 講座等の内容・構成・募集人員・講座数等

①募集人員

建設に関心のある18～35歳程度の者、20名程度

②講座内容

「玉掛け技能資格」(特別教育)

学科 60分×5コマ=5時間

実技 60分×4コマ=4時間

「小型移動式クレーン運転技能資格」(特別教育)

学科 60分×10コマ=10時間

実技 60分×6コマ=6時間

「高所作業車技能資格」(特別教育)

学科 60分×6コマ=6時間

実技 60分×3コマ=3時間

「自由研削砥石技能資格」(特別教育)

学科 60分×4コマ=4時間

実技 60分×2コマ=2時間

「酸欠危険作業技能資格」(特別教育)

学科 60分×5.5コマ=5.5時間

「特別教育補講」

60分×5.5コマ=5.5時間

実技 60分×6コマ=6時間

「施工法一般」

60分×12コマ=12時間

「CAD実習」

60分×12コマ=12時間

キャリアアドバイス

60分×51コマ=51時間

123時間

③取得資格等

- ・「玉掛け技能資格」(特別教育)
- ・「小型移動式クレーン運転技能資格」(特別教育)
- ・「高所作業車技能資格」(特別教育)
- ・「自由研削砥石技能資格」(特別教育)
- ・「酸欠危険作業技能資格」(特別教育)
- ・「施工法一般」(講座)
- ・「CAD 実習」
- ・「ジョブ・カード作成」
- ・「履修証明書」

「玉掛け技能資格」の学科として「クレーンに関する知識」「玉掛けに必要な力学に関する知識」「クレーン等の玉掛け方法」「関連法令」と実技として「クレーンの玉掛け」、「運転のための合図」。

「小型移動式クレーン運転技能資格」の学科として「原動機及び電気に関する知識」、「小型移動式クレーン」、「関連法令」と実技として「小型移動式クレーン運転技能資格」。「高所作業車技能資格」の学科として「高所作業車の作業に関する装置の構造及び取り扱いの方法に関する知識」、「原動機に関する知識」、「高所作業車の運転に必要な一般事項に関する知識」、「関係法令」と実技として「高所作業車の作業のための装置の操作」。「自由研削砥石技能資格」の学科として「自由研削用研削盤、自由研削用といし、取付け具等に関する知識」、「自由研削用といしを取付け方法及び試運転の方法に関する知識」、「関係法令」と実技として「自由研削用といしを取付け方法及び試運転の方法」。「酸欠危険作業技能資格」の学科として「酸素欠乏の発生の原因」、「酸素欠乏症の症状」、「空気呼吸器等の使用の方法」、「事故の場合の退避及び救急処生の方法」、「その他の酸素欠乏症の防止に関し必要な事項」と実技として「酸素欠乏等の発生の原因」、「酸素欠乏症等の症状」、「空気呼吸器等の使用の方法」、「事故の場合の退避及び救急処生の方法」、「その他酸素欠乏症等の防止に関し必要な事項」を行った。

講座として、建設分野専門的職業知識習得のために「施工法一般」を行う。さらに、施工図面の知識習得のため「CAD 実習」も行った。

受講者ヒアリングとして、本講座受講前の離職した理由や本講座を受講したい事柄などを調査しさらに習得過程や再就職に向けたキャリアアドバイス・建設業界支援による企業での「インターンシップ」・就職支援や再就職後の定着状況も調査しフォローアップを行った。

上記のほか、キャリアコンサルタントによるキャリアコンサルティングの機会を9個設定した。

②受講者の募集方法 (手法・期間・効果)

受講者募集に当たっては、主に下記の方法を用いて行った。

1. ハローワークへのチラシ設置 (横浜) (9月1日～9月11日)
2. よこはま若者サポートステーション (横浜) (9月1日～9月11日)
3. JOB カフェすいた、JOB カフェ OSAKA (大阪) (9月8日～9月24日)
4. 豊中市地域就労支援センター (大阪) (9月8日～9月24日)
5. 大阪府若者サポートステーション (大阪) (9月8日～9月24日)
6. コネクションズおおさか (大阪) (9月8日～9月24日)

応募状況は定員各20人(横浜、大阪)のところ、横浜2人、大阪3人、刑5人の応募があったため、面接を行い、5人を受講対象者とした。

③受講者の状況

受講者5人の内訳は下記のとおりである。

男性5人(横浜2人、大阪3人)

年齢層は10代1人（大阪）/20代4人（横浜2人、大阪2人）
いずれも受講開始時点では定職に就いておらず、アルバイトなどで生活しているとのことであった。

④受講者の意識調査等

受講者満足度は100%であった。就職者は1人（横浜）であった。
しかし、現在も受講者（横浜・大阪含む）はハローワークなどへ通い求職している。
・大変満足：5人（100%）

⑤受講後の状況（修了者数・就職率）

受講者5人を（横浜2人、大阪3人）全員が規定の出席時間数に達したため、修了証を交付した。
修了者のすべてが就職希望者であり、就職活動を行い、1人（横浜）が就職し、現在4人（横浜1人、大阪3人）が活動中である。

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

受講者満足度は100%であったが、就職者数は1人（横浜）であった。

②事業の成果及び改善点

- 「技能資格」（特別教育）講座（横浜、大阪共通）について
「玉掛け技能資格」、「小型移動式クレーン運転技能資格」、「高所作業車」、「自由研削砥石」、「酸欠危険作業」の5種の資格を取得させ、雇用され得る能力環境を与えた。
- 「施工法一般」の講座（横浜、大阪共通）については
 - ・ 社団法人建設業協会関西支部発行のイラスト「建築施工」による疑似体験
 - ・ 2級建築士、施工管理技士の問題にて知識レベルを確認し深める。
 - ・ 実施の流れを施工ビデオにて全体の流れを確認し自分としての感想を述べる。である。
- 施工法一般（CAD実習）
CADはJW_CADを用いて実習した。横浜では「やさしく学ぶJW_CAD」（（株）エクスタレッジ）を用いて行った。
- キャリアアドバイス（横浜、大阪共通）
 - ☆私のライフプランとキャリアデザインを考える ～20代・30代の人生を考えよう～
 - ☆グループで体験する、職場で活かす「学ぶ力」と「対話力」
 - ☆応募書類の作成
 - ☆適職選びについて
 - ☆履歴書用紙
 - ☆職務経歴書作成ツール用紙
 - ☆職務経歴書用紙
 - ☆就職活動に必要なマナーを身につけよう ～会社訪問後のマナー～

③次年度以降における課題・展開

本年度幹事校である学校法人浅野工学園〔横浜〕が実施予定の「建設関連技能資格」を活用した就業能力向上支援事業を活用し、次年度以降各都道府県の「建設業協会」、および「建設系専修学校」の協力を得て、若者の再就職のチャンスを与えたい。

本事業は「建設関連技能資格」を取得し、実務的に専門的職業知識「施工法一般」、「CAD 実習」を習得でき再就職へつながるという画期的な事業である。

④成果の普及

平成 22 年 2 月 27 日に 40 人を集めた結果報告会を開催した。

また、報告書、CD-ROM を関係諸官庁、建築連絡協議会会員校、関係建設会社に配布した。